

**B35c**      **宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発 (7) : 統合ソフトウェア CANS**

福田尚也 (JST/千葉大理)、横山央明 (国立天文台)、松元亮治 (千葉大理)、ネットラボラトリーチーム

我々は、科学技術振興事業団計算科学技術活用型特定研究開発推進事業 (ACT-JST) 「宇宙シミュレーション・ネットラボラトリーシステムの開発」プロジェクトの一環として、宇宙流体数値シミュレーション用の統合ソフトウェア CANS (Coordinated Astronomical Numerical Software) を開発してきた。今回、多次元版の統合コードを MPI によりコードを並列化し、スーパーコンピュータを利用した大規模な高速計算が可能になった。また、多次元版の自己重力のモジュールを組み込み、星形成の基本課題モデルパッケージも追加した。この統合ソフトウェアの多次元版を利用した「天体とスペースプラズマのシミュレーションサマースクール (於名古屋大学情報メディア教育センター)」が9月9日から13日に予定されている。その報告もおこなう。

本プロジェクトの成果は以下の Web ページで公開している。  
<http://www.astro.phys.s.chiba-u.ac.jp/netlab/index.html>